2020年度委員会事業計画並びに予算(案)

会議・委員会名

総務広報委員会

| 委 | 員 | | 長 |
|---|---|---|---|
| 副 | 委 | 員 | 長 |
| 運 | 営 | 幹 | 事 |
| 会 | 計 | 幹 | 事 |
| 書 | 記 | 幹 | 事 |
| 委 | | | 員 |

| 吉住 | 孔佑 | | | | | | | | |
|-----|-----|----|----|----|----|----|----|--|--|
| 阿部 | 哲男 | 野口 | 竜矢 | | | | | | |
| 渕上 | 聡一 | | | | | | | | |
| 横嶋 | 拓也 | | | | | | | | |
| 長谷月 | 川卓哉 | | | | | | | | |
| 飯塚 | 祐樹 | 市原 | 啓吾 | 宇敷 | 有亮 | 遠藤 | 憂子 | | |
| 大崎 | 孝一 | 片野 | 匠 | 葛谷 | 篤志 | 栗原 | 啓太 | | |
| 清水 | 孝麿 | 染谷 | 博之 | 三原 | 龍太 | 宮沢 | 歩 | | |
| 湯澤 | 嘉匡 | | | | | | | | |

基本方針

我々、公益社団法人埼玉中央青年会議所が地域に影響を与え続ける組織であるためには、組織の運営体制が整備され確立していることは必須です。また、地域に広く影響を与えるためには、我々をより多くの方に認識してもらい我々の事業・例会の想いや考えに共感を得てもらうことが必要です。 当委員会は、総会において厳粛かつ適切に運営し、メンバー一人ひとりが組織の一員である自覚を高めます。理事会においては、高い次元での議

が組織の一員である自覚を高めます。理事会においては、高い次元での議論と意思決定ができる円滑な会議とするため、高い規律を守り続けるよう管理・設営していきます。そして、メンバーが組織運営を学べるような運営体制を築きます。また、適切な媒体で効果的な広報活動を行い、今まで我々を知らなかった方々に我々の運動や想いを知ってもらいます。そして、地域市民の認識を更に高めるために、メンバーが広報活動の重要性を学ぶ場を提供します。

確固たる体制を築きあげた組織の中で、活動するメンバーは高い規律や 適切な組織運営を体得し成長していきます。また、より多くの地域市民か ら共感を得て、その方々が主体的に行動し、この地域は更に発展していき ます。

| 職務分掌 | 予 算 |
|---------------------------|---------|
| 1. 7月第1例会の企画・運営 | 30,000円 |
| 2. 総会の運営及び総会資料及び議事録の作成・管理 | 0円 |
| 3. 会員手帳の作成・管理 | 0円 |
| 4. 理事長・理事選任選挙に関する事項 | 0円 |
| 5. 総会・例会に関する出席状況の記録・管理 | 0円 |
| 6. 理事会の設営、開催及び議事録作成・管理 | 0円 |
| 7. 事務局の運営並びに備品管理 | 0円 |

| 8. | ホームページの管理・運営 | 0円 |
|------|-------------------------------|---------|
| 9. | インターネットを利用した情報発信 | 0円 |
| 10. | 各メディアへの情報提供及び管理 | 0円 |
| 11. | 関係官庁提出書類の作成・管理 | 0円 |
| 12. | 関係行政及び関連諸団体との情報収集、書類の取りまとめ・管理 | 0円 |
| 13. | 定款・諸規程の見直しに関する事項 | 0円 |
| 14. | 褒賞に関する事項 | 0円 |
| 15. | 会費徴収に関する事項 | 0円 |
| 16. | 慶弔関係の連絡調整 | 0円 |
| 17. | 公益社団法人日本青年会議所事業の情報収集及び対応 | 0円 |
| 18. | 会員拡大活動の実施 | 0円 |
| 19. | 地域の魅力ある人材の情報提供 | 0円 |
| 20. | 出向支援に関する事項 | 0円 |
| 2 1. | 各種大会への参画ならびに協力 | 0円 |
| 22. | 公益財団法人日本青年会議所との連携 | 0円 |
| 23. | 行政・諸団体からの要請事項への対応 | 0円 |
| 24. | OB・シニア会との連携 | 0円 |
| 25. | 25周年記念式典・記念事業への参画・協力 | 0円 |
| | 合 計 | 30,000円 |